

2022年夏季手当JR各社の回答状況



会社名	2022年度回答	2021年度実績	前年度比	支払日	回答日	2021年度年間実績
北海道	1.60箇月	1.60箇月	前年同月数	7月4日	6月21日	3.27箇月
貨物	1.72箇月	1.77箇月	-0.05箇月	7月8日	6月17日	3.44箇月
ジェイ・アール北海道バス	箇月	1.99箇月	箇月	月日	月日	4.00箇月
東日本	2.30箇月	2.00箇月	+0.30箇月	6月28日	6月7日	4.00箇月
東海	2.20箇月	2.20箇月	前年同月数	6月30日	3月18日	4.40箇月
西日本	1.34箇月	1.30箇月	+0.04箇月	6月30日	3月31日	2.55箇月
四国	1.35箇月	1.21箇月	箇月	7月7日	月日	2.42箇月
九州	1.64箇月	1.25箇月	+0.39箇月	6月30日	6月8日	2.57箇月

国労北海道本部の機関紙から記載しました

No.1078
 発行
 2022年
 8月1日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 清野 聡
 編集責任者
 教 宣 部

当面する行動について

- 8月9日 支社団交
- 8月19日 エリア本部
委員長・書記長会議
- 8月20日
第35回東日本本部定期大会



今年のJR各社の夏季手当回答状況です。
 コロナ禍で各社の収入状況は減収となりましたが、列車の安全・安定輸送に従事している社員、そして社員をささえている家族の思いを踏みにじる回答内容になりました。
 私たち国労は、職場で働く労働者の要求の実現に対して、頑張っていく決意です。



業務委託契約による再雇用

JAL闘争

6月21日、株主総会後、JH U 労組に23日に事務折衝が持たれました。
 会社は「業務委託契約による再雇用」という内容で、労働契約で

労働契約ではない

業務の範囲は、予め契約で定められたものに限られ、委託された業務はいつでも行っても原則自由で、指揮命令をうけることはありません。

しかし、労働契約ではないので会社との雇用関係がなく、労基法、労契法、最賃法、労災補償など労働者として保護される法律の適用がありません。

JAL闘争、165名が不当解雇されて12年、私たち国労も全国の仲間と連帯し、一日も早い職場復帰をめざし奮闘する決意です。

多くの方々の御支援、御協力をお願いします。



国労全国大会 7月28日～29日開く

福富代議員 大会で発言

第91回定期全国大会が7月28日～29日に東京で開催しました。新潟地本から福富書記長が代議員に選出され大会で発言しました。

大会では、JRやグループ・関連会社の職場で働く仲間の切実な声を受け止め、一致団結して労働条件向上や処



遇改善、安全・安定輸送の確立、さらにJR北海道・四国・貨物会社に対する持続可能な支援策の確立とJR九州の安定経営に向けた助成策の継続。

自然災害からの鉄道復旧や基幹的輸送機関としての地方交通線の維持活性化など直面する課題に取り組みながら、満場一致で向こう一年の運動方針を決定しました。



当面する闘いの展開について

①各級機関は、全国大会で決定した方針を、全機関・組合員に徹底し闘いの前進を図ること。

②各エリア・地方本部は、10月末を目途に大会を終了し、機関整備を図ること。

③安全・安定輸送と健全な労使関係の確立に向けた闘いに全力をあげる

こと。
④期末手当、労働協約など秋季年末闘争に全力をあげる。

⑤JRに働くすべての労働者の労働条件向上と職場環境・待遇改善を求める闘いに全力をあげ、最重要課題である組織の強化・拡大を図る。

⑥中央闘争委員会を設置する。

中央執行委員会

- 中央執行委員長（専）
松川 聡（総括、政治・共闘担当）
- 中央執行副委員長
木村 忠義（調査・法対部長、業務共闘担当）
- 書記長（専）
岩元 孝信（企画部長、政治・共闘担当）
- 中央執行委員
宮崎 浩則（総務・財政部長、組織共闘担当）
鈴木 郁夫（組織部長、業務担当）
瀧口 良二（教宣部長、共闘担当）
辻 将城（業務部長、貨物共闘担当）
- 会計監査員
馬橋 博一
羽生 隆盛
広瀬 裕二



編集後記

八月に入りました。暑さは一段と厳しくなつたように感じます。天気予報で最高気温40℃と説明を聞いてビックリしました。新潟県も連日、30℃を超える暑さ、夜も26℃以上の熱帯夜もありました。

コロナ感染が急拡大しています。「新潟まつり」は民謡流しは中止に、花火は延期となりました。しかし、ステージでのイベント企画や住吉行列は実施します。感染防止対策をさらに強化しなければなりません。



私の地域で和太鼓の活動をしています。毎年、新潟まつりに和太鼓演奏で参加しています。参加についてかなり悩みました。保護者の方々の話し合いで、3年ぶりの開催、子供たちも楽しみにしていることなど、意見が出て参加することにしました。